

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

教育指導課指導係 ☎0824-73-1184

令和2年度庄原市小・中学校一斉学力調査から
(令和3年1月7日～14日実施)



市教育委員会は、市内小・中学校の児童生徒を対象に、本年1月、「庄原市小・中学校一斉学力調査」を実施しました。
本調査は、児童生徒一人一人に「基礎・基本の力」や「活用する力」が定着しているかを全国的

な視野に立つて把握し、各学校での授業改善や学習指導の充実を図ることを目的としています。

小学1・2年生は国語、算数の2教科、小学3～5年生は国語、社会、算数、理科の4教科、小学6年生と中学1・2年生は国語、社会、算数・数学、理科、英語の5教科の調査を行いました。小学校英語は、令和2年度から教科に追加されたため、初めて実施しました。

結果はグラフのとおりです。ほぼ全学年・全教科で、全国平均正答率を上回っており、おおむね学力が定着しているといえます。特に、小学校国語・算数・英語、中学校英語では、平均で5ポイント以上、全国平均正答率を上回っており、授業改善の成果が見られます。

各学校では、児童生徒一人一人の結果を全教職員で共有し、児童生徒のさらなる学力の向上に向けて改善計画を立てるとともに、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、授業内容の工夫・改善に取り組んでいます。

今後、本市教育の基本理念である、ふるさとの学びを原動力として高い志を持ち続け、活躍できる人材の育成を目指し、「学びと誇りが実感できるまちづくり」を推進します。

教科別の正答率一覧

